

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

| | | | |
|------------------|---|-------------------|---------|
| 施設名 | 山梨県立本栖湖青少年スポーツセンター | 所管課 | スポーツ健康課 |
| 所在地 | 南都留郡富士河口湖町本栖210 | 設置年月日 (改築年月日等) | 昭和40年5月 |
| 管理方式 | 指定管理者(財団法人山梨県体育協会、平成18年4月1日～) | | |
| 設置根拠 (法律、条例等) | 山梨県立本栖湖青少年スポーツセンター設置及び管理条例 | | |
| 設置目的 | 豊かな自然とのふれあいの中で、青少年に集団宿泊生活及びスポーツ活動の機会と場を提供し、もって青少年の心身の健全な発達に寄与するため、本栖湖青少年スポーツセンターを設置する。 | | |
| 主な施設内容 (定員等) | 本館(事務所、宿泊棟)(宿泊73人)、新館(宿泊棟)(宿泊133人) 体育館(バスケットボール(バレーボール)コート1面) 運動場(400mトラック、フィールド)、キャンプ場(300人収容) | | |
| 主な業務内容 | (1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)その他教育委員会が必要と認める業務 | | |

2. 類似施設・近隣施設

| | |
|-------------------|--|
| 名称・施設内容・ 利用状況等 | (1)県立青少年センター:県立青少年センター:体育館、研修室・会議室、宿泊施設、運動場、屋内プール等 (2)富士北麓公園:利用者数154,102人 ※本栖湖青少年スポーツセンターは、富士北麓地域では唯一の宿泊施設を合わせ持つスポーツ施設である。 |
|-------------------|--|

3. 利用状況

単位:人、%

| | | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 (目標値) |
|--------|-----------|--------------------------------|--------------------------------|---|---------------------------------|
| 利用者数 | 体育施設利用者数 | 17,377 | 19,998 | 11,642 | |
| | キャンプ場利用者数 | 8,555 | 8,471 | 6,044 | |
| | 宿泊施設利用者数 | 14,713 | 16,774 | 12,579 | |
| | 利用者数合計 | 40,645 | 45,243 | 30,265 | |
| | 目標値 | 39,500 | 39,500 | 39,500 | 40,000 |
| | 目標値設定の考え方 | 過去3年間の平均を標準とし、さらに新規利用者の集客を見込む。 | 過去3年間の平均を標準とし、さらに新規利用者の集客を見込む。 | H20年度より開催された大型イベントが本年度は開催されないため、H20年度の目標値を基準とし、さらに新規利用者の集客を見込む。 | H20年度の目標値を基準とし、さらに新規利用者の集客を見込む。 |
| 対20年度比 | 100.0% | 111.3% | 74.5% | 98.4% | |

4. 収支状況

単位:円、%

| | | 平成21年度 | 平成22年度 (計画値) | 平成22年度 (実績値) | 平成23年度 (計画値) |
|-------------|--------------|------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 収入 | 施設利用料 | 16,805,920 | 13,536,000 | 11,698,550 | 13,500,000 |
| | 指定管理者委託料 | 23,501,000 | 23,966,000 | 23,966,000 | 20,029,000 |
| | その他 | | | | |
| | 収入合計(A) | 40,306,920 | 37,502,000 | 35,664,550 | 33,529,000 |
| 支出 | 人件費 | 19,714,303 | 20,401,000 | 16,934,400 | 19,852,000 |
| | 県への納付金 | | | | |
| | 管理運営費 | 16,181,733 | 17,101,000 | 14,432,319 | 13,677,000 |
| | (うち外部委託費)(B) | 4,038,650 | 2,129,000 | 3,871,716 | 3,981,000 |
| | 支出合計(C) | 35,896,036 | 37,502,000 | 31,366,719 | 33,529,000 |
| 収支差額(A-C) | | 4,410,884 | 0 | 4,297,831 | 0 |
| 外部委託比率(B÷C) | | 11.3% | 5.7% | 12.3% | 11.9% |
| 利用者一人当たりの経費 | | 578 | 607 | 792 | 501 |

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。
 ※利用者1人当たりの経費の算定式は、直営(HO~O年):(支出-収入)÷利用者数、指定管理者(HO~):指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

| | |
|-------|---|
| 実施方法等 | 実施時期:平成22年5月、7月、8月、9月、年末年始、実施方法:施設利用者へのアンケート、回答数:107人 |
|-------|---|

単位:%

| 調査項目 | 満足・十分 | 普通・ どちらでもない | 不満足・ 不十分 | 不明・ わからない |
|---------------|-------|----------------|-------------|--------------|
| ①施設・設備管理 | 92.0% | 0.0% | 7.0% | 1.0% |
| ②利用規程 | 84.0% | 4.0% | 2.0% | 10.0% |
| ③受付・接客 | 97.0% | 0.0% | 0.0% | 3.0% |
| ④食事サービス | 71.0% | 7.0% | 4.0% | 18.0% |
| ⑤自主事業(年末年始営業) | 86.0% | 9.0% | 0.0% | 5.0% |
| 各項目の平均 | 86.0% | 4.0% | 2.6% | 7.4% |

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

| | |
|------------|--|
| 利用者の意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・設置又は改修してほしい施設及び設備に対して、屋根付炊事棟、キャンプ場に洋式トイレの設置、体育館照明の改善、洋式トイレの増設、各部屋へコンセントの設置など大規模な改修要望が多かった。 ・食事については、改善してほしいという意見が多かった。 ・受付・接客については、対応が良いとの評価をいただいた。 |
| 利用者の意見への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・設置又は改修してほしい施設及び設備については、県へ改善を予算要望していく。 ・食事については、委託業者へ厳しく指導を行った。 ・受付・接客については、今後もより満足いただけるよう利用者サービスに努める。 |

6. 評価結果

| | 指定管理者の自己評価 | 施設所管課の評価 |
|--------------------------|---|--|
| 維持管理業務 | 法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。 | 施設の維持管理については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。 |
| 運営業務 | 事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。 | 施設の運営業務については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。 |
| 自主事業 | 計画どおり事業を実施することができた。 乾燥機の設置は、以前から要望されていたため、好評を得られた。 | 自主事業については事業計画書どおり業務が行われていることを確認した。 引き続き積極的に自主事業を計画し、利用者へのサービス向上に努めること。 |
| 利用状況 | 利用者数の大幅な増加は困難だが、近隣の学校団体や県内外の高校や大学のクラブ・サークル合宿で利用していただけようPR活動に努めていく。 | 平成22年度利用状況は、大規模イベントのあった前の年度利用者数を下回っているため、利用者の拡大に繋がるよう、創意工夫したPR活動や情報提供に一層努めること。 |
| 収支状況 | 施設・設備の小修繕や施設敷地内の整備などは職員が行い、燃料や消耗品などは節約に努め、支出を抑えた。 | 利用者の安全性の確保や利便性の向上に必要な修繕や備品の購入を行うなかで、計画以上に支出を抑えていることは評価できる。 |
| 利用者満足度 | 施設面での改善要望には、即時に対応できないため、サービス面での改善に努めた。食事の改善については、委託業者へ利用者の要望を伝え、指導を行った。 | 施設は設置から40年が経過し老朽化しているため、改善要望が多くあるにもかかわらず、職員の親切な対応が利用者者に評価されているものと思われる。食事の改善要望については、きめ細かく対応するよう指導した。今後とも利用者ニーズを把握し、サービスの向上に努めること。 |
| 施設所管課による総合的な評価及び指導事項 | 維持管理業務、運営業務等については概ね適正に実施されている。また、センターは老朽化が著しい施設であるが、この管理の難しい施設を大きな事故もなく管理している点は評価できる。 今後は、一層の経費削減と増収に努めること。また、利用者ニーズを把握するとともに、利用者の意見には条例、協定等に基づき可能な限り対応すること。 | |
| 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況 | 施設及び設備の老朽化が著しいため、今後もよりいっそう点検を細かく行い、事故の無いよう管理をし、経費削減と利用促進に努める。 また、利用者ニーズを把握し、対応していく。 | |

7. 管理体制(組織図)

